

TOHATSU

PARTNER

2013年1月1日発行/新年号

VOL.88



Photo : 日本のシンボル・東京スカイツリー

CONTENTS

●年頭ご挨拶.....	P2	●東北トーハツポンプ会技術講習会.....	P6
●長崎県小値賀町へポンプ積載車納入.....	P3	●九州・山口トーハツポンプ会技術講習会.....	P6
●総務省消防庁から人員輸送車受注.....	P3	●トーハツポンプ中央会セールス研修会.....	P6
●熊本県山都町へポンプ一括納入.....	P3	●危機管理産業展2012.....	P6
●福島県下で相次ぎポンプ一括納入.....	P3	●トーハツポンプ中央会秋期総会.....	P7
●トーハツ(株)金子社長「消防庁長官表彰」を受賞.....	P3	●北海道トーハツポンプ会総会.....	P7
●第23回全国消防操法大会開く.....	P4	●9月～11月の駒ヶ根工場見学会.....	P7
●横浜ポートフェア2012.....	P4	●トーハツの新しい仲間のご紹介.....	P7
●大阪でミニ・ポートフェスティバル.....	P4	●中部地区サービスパイロット店技術講習会.....	裏表紙
●操法大会会場で展示会.....	P5	●九州地区サービスパイロット店技術講習会.....	裏表紙
●緊急消防援助隊の合同訓練会場で展示会.....	P5	●第61回長野県縦断駅伝.....	裏表紙
●東北被災地で船外機の巡回サービス.....	P5		



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>



平成25年 年頭ご挨拶

トーハツ株式会社
代表取締役社長 金子 満

平成25年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

日頃ご支援を賜っております皆様をはじめとして「パートナー」をご愛読頂いている皆様方と共にこうして新しい年を迎えることができるのも、日頃のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年は、年明け早々に欧州危機を背景として、ユーロが97円30銭というユーロ安と、ユーロ5か国特にイタリア、スペインのフィッチレーティングスによる国債格下げという欧州債務危機の波乱含みの年明けでした。

年半ばには、ユーロも95円台まで下落するなか、スペイン国債の利回りが7%超と、国の資金調達が難しくなる危険水域に入り、スペインに対して欧州各国が1000億ユーロもの支援を行い何とか危機を回避しましたが、年が明けてもこの危機が去ったという見方はどこからも聞かれません。

また、記憶に残る昨年のニュースとしてミャンマーの民主化、8月のロンドン五輪での日本選手の活躍、京都大学の山中教授のiPS細胞研究におけるノーベル賞受賞など経済活性化に好材料となる出来事もありました。

新しく迎えた年、今年の干支は「巳」となりますが、「昔からヘビはお金を運んでくる」と言われておりますので、これにあやかって日本経済を含めて世界の経済環境が上向きに変化していくスタートの年になって行くことを願っております。

日本経済は、昨年末に策定された政府見通しにおいて、GDP実質成長率は1.7%、消費者物価上昇率は0.5%程度になると見込まれており、完全失業率においても昨年の4.3%から4.1%に改善されると報じられているように、緩やかに回復しつつあり、復興施策の着実な推進や雇用、収益環境の持ち直しなどを背景とした幅広い国内需要が成長を支える一方、中国不安や電力制約、慢性的に続く円高が阻害要因となって、製造業を取り巻く環境は大きく好転することは難しいと考えます。

このように製造業を取り巻く環境は決して良好とは言えませんが、今年もトーハツは「社会貢献」「顧客満足」の企業理念のもと、環境に適合をする変化をし続けてまいります。

昨年、会社設立80周年を迎え、次の10年へ向け、新たに全社員のエネルギーを結集して新年のスタートを切りました。何卒旧年に増してのご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様並びにそのご家族様にとりまして幸せで実りの多い年となりますようお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

長崎県小値賀町消防団へ 小型全自動ポンプ積載車3台を納入



長崎県五島列島の北端、東シナ海に面した小島にある小値賀町。その小値賀町へ、去る9月3日、4サイクル消防ポンプVF63AS-T搭載の「小型全自動ポンプ積載車」3台が納入されました。

翌日行われた入魂式では、式典と共にポンプの取扱い説明やテスト運転などを実施。4サイクルポンプのエンジン音の静粛さに、多くの消防団員や関係者から驚きの声が上がりました。この後、操作・機能などについて様々な質問が続出。西海国立公園を擁する小値賀町消防団員の防災意識の高さがうかがえました。またポンプ積載車納入の1ヵ月後には、トーハツ販売店立会いの下で防災訓練。更に2ヵ月後にはポンプ放水訓練を実施するなど、その熱意には心から敬服しました。

この度の納入に際し、4サイクルポンプをご採用頂きました小値賀町様、また販売にご尽力頂いたヤナセ産業(株)様には厚くお礼申し上げます。(防災九州/田中)

総務省消防庁から 「人員輸送車」47台受注!

この程トーハツでは、総務省消防庁における災害時などの人員輸送車47台の落札に成功しました。この人員輸送車は、マイクロバスをベースに緊急走行が可能な装備を施した上で、全国に配備されます。



ご採用頂きました総務省消防庁様には、厚くお礼申し上げます。(防災営業部/志津川)

〔主な仕様〕

●ディーゼルトターボエンジン
／オートマチック／エアコン
装備／ナビゲーション、バック
カメラ付／乗車定員21名(後
部収納スペース確保)／駆動
方式:後輪駆動(軸数2軸)

熊本県山都町へ 「VF53AS」 10台一括納入

石造アーチ水路橋の「通潤橋」で知られる熊本県山都町へ、去る10月19日、トーハツポンプ「VF53AS」10台が一括納入され、同町関係者多数出席のもと、納入式典、並びに消防団員へのポンプ取扱い説明など3班に分かれて実施されました。

取扱い説明後の質疑応答では、操作面、機能面などに関する質問が相次ぐなど、既に消防団員は納入されたNewポンプに向け意欲的に取り組んでいる風情でした。式典終了後、納入されたポンプは各消防団に配備されました。ご採用頂いた山都町様には厚くお礼申し上げます。(防災九州/田中)



福島県下 小型消防ポンプなど相次ぎ一括納入!

福島県の田村市へ、去る10月30日、ポンプ車1台、普通積載車8台、VF53ASポンプ搭載の軽積載車3台、更にVC72PROII単体ポンプ5台を一括納入。同日、冨塚市長出席のもと交付式が執り行われました。冒頭、冨塚市長は「5ヵ年計画で防災基盤を充実させ、防災に強い田村市を目指します」と、力強く挨拶。この後、式典やポンプ取扱い説明などが行われました。また、11月9日には同じく福島県の郡山市へ、ポンプ車3台、普通積載車8台、VC52BSポンプ12台を相次ぎ一括納入。同市消防関係者出席のもとに執り行われた交付式の後、それぞれの消防団に配備されました。

トーハツポンプをご採用頂きました田村市様、並びに郡山市様、そして田村市への販売にご尽力された(有)渡辺鉄工消防用品様、並びに郡山市への販売にご尽力された和田自動車(株)様には、誌上より厚くお礼申し上げます。

(防災東北/中島)



田村市



郡山市

トーハツ(株)代表取締役社長 金子 満氏 「消防庁長官表彰」を受賞 明治記念館で授賞式

消防設備業界関係の功労者を称える平成24年度「消防設備関係功労者等」に關する消防庁長官表彰が、去る11月5日、東京・元赤坂にある明治記念館で行われ、この9月に就任された岡崎 浩已消防庁長官のもと、全国から多数の業界関係者が出席、授賞式が執り行われました。授賞式典では、進行係員から各受賞者の名前が読み上げられ、代表が岡崎消防庁長官より賞状を授与されます。左胸に受賞者の“証”を付けた受賞者の方々が関係者から祝福の声をかけられたり、また囲まれるように記念撮影をする光景があちこちで見られました。

式典終了後は、恒例に習い岡崎長官と並んで記念撮影。皆さん緊張感のある晴れやかな笑顔でした。(防災営業部/志津川)

平成24年度 消防設備関係功労者等 表彰式



雨に打たれながら奮闘! 第23回全国消防操法大会開く



福岡県福岡市消防団

第23回目を迎えた全国消防操法大会が、去る10月7日、生憎の雨模様の中、江東区の東京臨海広域防災公園で行われ、小型消防ポンプの部は各都道府県代表23チームの間で操法日本一が競われました。今回トーハツポンプを使用して出場した消防団は16チーム。大会前日は、トーハツ技術係員のサポートもあってポンプの整備・点検に余念がありません。選手たちは充分訓練を重ねてきた自信から特別な緊張感も無く、作業の合間のひと時をトーハツ係員などと談笑。誇りや意気込みなど、今大会への情熱を大いに語ってくれました。このような消防団員の方々に、トーハツポンプを使って頂けるのはメーカーとして最高の喜びです。

さて定刻スタートした競技は、文字通り秋雨に打たれながらの奮闘が続きました。各選手の精悍な表情。そして迅速で力強い操法の中で発揮される見事なチームワーク。これらの情熱が天に通じたのか、大会後半から雨も上がり競技は更に伯仲。大いに盛り上がりましたが、今大会で一番期待されたトーハツポンプ「4連覇」は成りませんでした。しかし見る側にとって気持ちが引締まるような見応えのある操法を披露して頂きました。トーハツポンプを使用してお出場頂いた消防団チームの皆様には、誌上より厚くお礼申し上げます。大変お疲れ様でした。(技術部/長谷川(公))



鳥取県米子市消防団



ボートショー 2012

“横浜ボートフェア2012”

入場者数 前年度比約130%伸張!



猛暑の夏から一転、爽やかな秋晴れの続いた去る10月12日から3日間、恒例の「横浜ボートフェア2012 in 横浜ベイサイドマリーナ」が催され、待ち焦がれた首都圏のボートファンや行楽客もまじえ、会場は終日ごった返しました。猛暑日の続いた夏の反動?かどうかは別にしても、この度の延べ入場者数は主催者側の発表によると対前年比約130%の伸びを示したとか。この数字を

裏付けるかのように、トーハツブースでも毎年実施されている「事前PR向けDM」を持参して訪れた入場者数が、対前年度比188%と大幅に増加。ブースのメインに据えたフィッシング用「MARVELOUS21a」と「MD90C2」のセット艇には、常に人の輪ができる程の混雑振りで、トーハツ係員は扱い易いサイズと値頃感をアピールポイントに奮闘。アングラーの要望を取り込んだ使い勝手の良さが、とりわけ評判を呼んでいました。一方ユーザーの中には、TLDIエンジンと4stの違いに興味を示す方、またオプション品の詳細確認のためにわざわざご来場いただく方々、購入に向けた具体的な動きが垣間見られ、ユーザーの動向を知る上でも大変有意義な展示会でした。(マリン課/石丸)

大阪でミニ・ボートフェスティバル

免許や船舶検査など不要で手軽に楽しめるミニボートの普及を図ろうと、日本舟艇工業会が全国展開している「ミニ・ボートフェスティバル」が、去る10月13日・14日の両日、大阪府立青少年海洋センターで催されました。このフェスティバル、初日13日は体験試乗会や安全対策のための講習会を実施。翌14日は待望の釣り大会も行われるなど、ミニボートファンにとって見逃せないイベントの一つです。開会に先立ち近畿陸運局の大山課長が挨拶。同フェスティバル開催の意義などについて述べられた後、初日予



全国消防操法大会会場で「展示会」を併催 新製品「VF63AS-Ti」好評!

去る10月7日、江東区の東京臨海広域防災公園で行われた全国消防操法大会との併催で、各防災メーカー協賛による展示会が開かれました。天候は朝から雨模様ながら、今大会はトーハツポンプ4連覇への期待と、トーハツ80周年が重なったの上げ潮ムード。お客様用として製作した80周年記念手提げ袋に、カタログ、記念タオル、ボールペンなどを詰めて配布したところ、これが大当たり。300袋以上用意した記念袋が午前中で在庫切れになりました。



今回メインに展示した消防ポンプは新製品「VF63AS-Ti」。そして操法大会でも人気の「VC72PROII」の2台。お客様には、実際にエンジン始動から自動吸水システムまで体験して頂きました。とりわけ好評だったのが新製品「VF63AS-Ti」。静粛な4ストロークエンジンに加え、タッチパネル式で遠隔操作までできる優れたもの。「操作が楽で分かり易い」との声が多く聞かれました。また、ツイン真空ポンプによる早い吸水性能で知られる「VC72PROII」は、もう操法大会ですっかりお馴染みです。一方その他の展示品では、救助・救急用品、コワレンジャー、フローティングストレーナー、RCホッパー、フローインジケーター、ガンタイプノズルの各種などを用意。沢山の消防団員にアピールしました。ご来場頂いた皆様には厚くお礼申し上げます。(防災営業部/川名)



三重県鈴鹿市消防団



長野県松本市消防団

緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練会場で 展示会を併催



平成24年度の緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練が、去る10月23日、宮城県の総合運動公園(グランディ21)で開催されたのに伴い、同公園で防災用品の展示会が併催されました。この合同訓練には、総務省消防庁をはじめ北海道、東北7県の消防機関が参加するとあって、トーハツは地元特約販売店のトーハツ県南サービス(株)と合同で出展。メインに、この度新発売された消防ポンプ「VF63A

S-Ti」遠隔操作電子スロットルを搭載した多目的積載車を展示。またその他各種防災用資機材も展示してPRに努めました。とりわけ新型ポンプの遠隔操作タッチパネル式には、訪れた消防関係者も興味津々。「小型ポンプもここまで来たか」と、一様に関心を示していました。トーハツ県南サービス(株)様、大変お疲れ様でした。

(防災東北/中島)

イパル



定された様々なイベントがスタートしました。とりわけ安全講習会では、マリン課藤川係長によるミニボートライフをエンジョイするための安全講習や関西小型安全協会の天野事務局長による海上交通法規の説明などがあり、マリンレジャーの正しいルールや安全性をアピール。隣接する「海風館」での前夜祭と相まって大いに盛り上がりました。翌14日は快晴。大勢のフィッシング・ファンが参加するメインイベントの釣り大会。各々工夫を凝らしたミニボートが、スタート・フィッシングの合図と共に先人を競って出走しました。さて気になる釣果は、ボート雑誌でお馴染みの「舵社」からエントリーされた「Mr.釣リック」の異名を持つ須藤氏が、総重量部門で優勝。豪華なトロフィーを掲げ、面目躍如といったところでした。フィナーレを迎え、大会委員長は「こんな首都圏ともいえる海に、まだまだ大物が釣れる素晴らしいエリアが存在することに感激しました。益々ミニボートの普及と安全啓蒙に心がけて行きたい」と挨拶。喝采を浴びる中、無事閉幕しました。

(マリン関西/田中)

漁業復興支援へ 東北各地域で 船外機巡回点検サービスを実施

震災後、急ピッチで進められた東北の漁業復興支援事業により納入された船外機。港の復旧工事の遅れから、その多くが使用されていない状況の中で、岩手県下では漸くこの11月からアワビ漁がスタート。トーハツでは安心してご使用頂けるよう早速点検サービスを実施しました。実施されたのは岩手県野田村にある北栄工機さんのご協力により納入された田野畑村漁協様の約100台。トーハツ本社サービス室の応援を得て、去る10月9日から13日までの日程で行われました。港の復興が進まず海に出られなかった方々も、「このアワビ漁から何としても出漁したい」と張り切っています。また岩手県田老地区では、(有)千葉農林漁業機械さんの協力により田老漁協様に納入されたMFS8A3L船外機約250台も、トーハツ本社サービス室の応援を得て去る11月5日から13日までの日程で、点検

サービスが行われました。実施に当たっては、予め田老漁協様の発行する週報などの告知掲載でご協力頂きました。港の復興事情はこの地区も同様でエンジンなどを置く場所が少なく、漁師さんが家に持ち帰ってしまい点検作業が難航するかと考えましたが、幸いこの時期はアワビ漁の準備のため船が港近くに保管されていたことで、作業は順調に進みました。この地区でも60%以上の船外機が未使用でした。また同地区は「2st 船外機」の使用が多かったため「4st」の使用説明を行いながらの点検作業でした。期待の大きいアワビ漁には、ほとんどの漁師さんが出漁を予定しています。復興へ、豊漁を願うばかりです。

(東北担当/木村)



ポンプ技術研修会

東北・中央・九州山口各ブロックで相次ぎ実施

【東北トーチポンプ会 技術講習会】



平成24年度の東北トーチポンプ会技術講習会が、去る10月24日～26日、トーチ駒ヶ根工場内のサービスルームで開催され、4ストロークポンプを中心に実施されました。

先ず手始めは工場見学から、と言うことで早速工場内を見学。この後3班に分けてチームを編成。予めスタッフが仕込んでおいたトラブル原因16箇所を、チームで順次解決して行く方式のトラブルシューティング研修が行われました。難問と思われたこれらのトラブルも、さすが技術サービス経験豊富な受講者チームだけあって次々と解決。果てはチーム間で競い合う一幕もありました。全トラブルを解決し終えたところで、次はチームごとに原因から解決までの経緯を詳しく報告してもらいました。スタッフからは、「参加者全員が今後自信を持ってメンテナンス業務を行える」と高い評価を受けられ、3日間にわたった講習会を終了しました。ご参加頂いた東北ブロック特約販売店の皆様、大変お疲れ様でした。

(防災東北／中島)

【九州・山口トーチポンプ会 技術講習会】



九州・山口トーチポンプ会では、去る11月13日・14日の両日、福岡市内の福岡サンパレスホテルで技術講習会を開催。この10月1日新発売した新モデル「VF63／53AS-Ti」の修理を想定し、電装関係をメインに実施しました。

講習会参加者には、各自にテスターやドライバーを持参して頂き、講師の指導により内部の配線を組みんだり、はんだ付けしたり、修理に欠かせない細やかな作業を実践的に行いました。これにより修得した技術を活かし、実際に現場で迅速に対応できるよう頑張ってもらいたいと、同ポンプ会では切望しています。

最後は余談になりますが、この日、講習会会場の隣では大相撲九州場所が開催中。周囲は力士を一目見ようと見物客で賑わっていました。ご参加頂いた特約販売店の皆様、大変お疲れ様でした。

(防災九州／田中)

【トーチポンプ中央会 セールス研修会】

トーチ主催による平成24年度トーチポンプ中央会のセールス研修会が、去る10月11日から2日間、中央ブロック特約販売店から22名が参加し、駒ヶ根工場で行われました。この度のテーマは、座学、基本メンテナンス、中継送水、トラブルシューティングの4項目。研修参加者が事前に「希望テーマ」を選択し受講するという試みで実施され、自ら希望したテーマに沿って、真剣に取り組みました。

先ずトラブルシューティングの研修では、過去に発生した不具合の事例に基づいて故意に不具合を発生させます。受講者はその不具合状況を把握し、原因を突き止めるという体験してもらいました。また中継送水の研修では全自動ポンプを使用し、始動から停止までの一連の操作の流れを体験。普段、中継送水を体験されていない方が多い中で、受講者の皆さんは貴重な体験として熱心に取り組んでいました。今回2日間という短期研修会でしたが、多くの受講者から「参加して良かった また是非やって下さい」などの声がかかるなど、短期ながらも濃厚な内容でした。ご参加頂きました研修者の皆様には厚くお礼申し上げます。大変お疲れ様でした。（サービス室／新井）



“危機管理産業展2012”開催 救急・救助関連のプロツールを多数展示

近年各界から注目されている「危機管理産業展2012」が、去る10月16日（水）～19日（金）の4日間、今年も東京ビックサイトで催され、期間中25,333名の入場者を記録する大盛況ぶりでした。

トーチでは、救急用資器材（高耐久EMSバッグ、バックボード用緩衝材、感染防止カバー、捻挫骨折固定キット、CSRM用要救助者観察キット、傷病者確保帯）、並びに救助用資機材（熱画像直視装置、画像探索機、水中探索装置、赤外線温度警報装置）などを中心に展示しました。とりわけ水中探索機「探サーTD-3（高分解能スキャニング装置／GPS／水中カメラのセット）」は、先の天竜川転覆事故で沈没船発見に貢献。更に「ビデオレイPro4（ROV・水中ロボット）」は、岡山県の海底トンネル落盤事故現場での活躍で多方面に知られており、当会場でも熱い視線を浴びていました。またその他では、「座ぶとん形・浮力補助胴衣」、手動発電も可能な「ポータブル蓄発装置」など従来にはない商品が反響を呼び、トーチブースは終日来客が絶えない状況でした。期間中は多くの特約販売店様が、他のお客様とご同伴でご来場賜り、誌上より厚くお礼申し上げます。（防災営業部／友田）





トーハツポンプ中央会 赤倉温泉で秋期総会

トーハツポンプ中央会では、去る11月9日、新潟県の妙高赤倉温泉「赤倉ホテル」で秋期総会を開催。見ごろを迎えた紅葉を存分に楽しみました。今総会の第1部では藤松会長による開会挨拶の後、今年度における事業報告、更に来年度の事業計画などが討議されました。その中で、特に今年度行われた同ポンプ会主催のセールス研修会について藤松会長から発言があり「トラブル事例を示しながらの研修会は大変有意義だった」と、事業の成果を強調しました。また第2部では、藤松会長、トーハツ(株)金子社長の挨拶の後、トーハツ(株)小山取締役営業本部長から業界の現況と販売動向などの報告があり、拡販へ活発な意見が交されました。総会はこの後定刻閉会しました。遠路ご出席賜りました会員の皆様には誌上より厚くお礼申し上げます。(防災中央/高橋)

北海道トーハツポンプ会 札幌パークホテルで総会



第21回北海道トーハツポンプ会総会が、秋晴れの11月13日、札幌市中島公園に隣接する札幌パークホテルで開催されました。総会前のひと時、先ずは腹ごしらえしようということになり全員で昼食会。この度は総会ならぬ昼食後の和やかな情報交換からスタートする異例の総会となりました。

本総会では同ポンプ会の八木会長の挨拶。続いてトーハツ(株)金子社長、(株)北海道モリタの開社社長が挨拶。業界の状況報告や今後の販売指針などが示され、また質疑応答では技術講習会の積極的な開催などの提案などがあり、定刻閉会しました。ご参加頂いた同会会員の皆様、並びに事務局の(株)北海道モリタ様には、誌上より厚くお礼申し上げます。

(防災営業部/小鷹)

9月～11月 駒ヶ根工場見学に 6団体様が訪れました

長野県駒ヶ根工場は、トーハツが主力製品を製造する最新鋭工場として竣工以来、全国各地から多くの防災関係者によるご見学ご来訪を頂きました。大変有り難く、誌上より厚くお礼申し上げます。なお昨秋9月から11月までの各団体様による工場見学者は、次の通りでした。

〔ご見学者団体様名〕

9月28日:千葉県富里市消防団様/10月11日:神奈川県三浦半島消防団連絡協議会様/10月15日:滋賀県東近江市消防団様/11月8日:長野県塩尻市消防委員会様/11月19日:新潟市消防団西蒲方面隊様、滋賀県日野町消防団様 以上6団体の皆様大変お疲れ様でした。

(防災中央/高橋)



長野県塩尻市消防委員会様



滋賀県東近江市消防団様



神奈川県三浦半島消防団連絡協議会様



滋賀県日野町消防団様



新潟県新潟市消防団様



千葉県富里市消防団様

トーハツの新しい「仲間」をご紹介します
ご愛顧の程どうぞ宜しく!

トーハツポンプ
特約販売店

「新日本消防設備株式会社」

その仲間とは、新たに九州の大分地区の販売を受け持つことになったトーハツポンプ特約販売代理店「新日本消防設備株式会社」です。トーハツではこの程、同地区販売強化策の一環として新日本消防設備株式会社と正式に特約販売代理店契約を締結。既に平成24年10月1日から業務を展開しています。今後同地区の皆様には、この新しい仲間を通してトーハツ防災製品の販売・サービスをご提供させていただきます。新日本消防設備株式会社では地元の皆様とのコミュニケーションをより深め、適切で迅速なサービスをご提供することで、従来にも増します信頼を得たいと願っているところで。どうぞ宜しくご愛顧の程お願い申し上げます。(防災九州/田中)

船外機サービスパイロット店の技術講習会 各地で相次ぎ開催

中部地区船外機サービスパイロット店 技術講習会



北アルプス立山連峰を望む富山県高岡市にあるパイロット店・日本海マリン(株)内の施設を会場に、去る9月25日、第3回目を迎えた中部地区船外機サービスパイロット店技術講習会が、同地区全8店のうち6店・9名が参加して開かれました。

この度の研修モデルはMFS25B/30Bで、パワーヘッドの分解・組立て技術の実技を学びました。参加者は4~5名ずつ2組に分かれ、分解・組立てを行いつつながら、重要ポイントでは実例紹介を交えるなど非常に実践的な内容です。従って日常的な販売・メンテナンス活動に密着していることから、受講者の眼差しは真剣です。その受講者も、普段から船外機を扱っているだけに、スパナやドライバーなど工具扱いは流石にプロ。作業に入ると、あっと言う間に組み上げてしまう腕前です。そして講習会の総仕上げは懇親会。各パイロット店同士の関係はすこぶる良好で、終始和やかムード一色。散会時には、多数の受講者が同講習会の継続を希望されるなど、今後の拡販に信頼と大きな期待を感じました。ご多忙の中ご参加頂いたパイ

ロット店様には心より感謝し、お礼申し上げます。また会場・施設の提供など全面的にご協力頂いた日本海マリン(株)様、及びスタッフの皆様には厚くお礼申し上げます。

(中部担当・菊谷)



九州地区船外機サービスパイロット店 技術講習会

第3回目を迎えた九州ブロックのサービスパイロット店技術講習会が、去る11月20日、トーハツのマリン九州(福岡市)特設会場で行われ、九州地区をはじめ山口・沖縄の両県から、総勢12名が参加しました。

この度のモデルは、MFS25B/30Bを素材に2班に分かれて実施。同機のパワーユニット部の1点1点の部品構造と役割などを確認しながら分解・組立てを行いました。また整備する際に、どのようにすれば作業がし易いかなど、パイロット店同士いろいろな工夫を凝らし情報交換を交えながら、和やかに進行了。今回は1日限りという短い日程でしたが、緊張感ある内容の濃い講習会でした。ご多忙の中ご参加頂きましたパイロット店の皆様には、厚くお礼申し上げます。

(マリン九州/小畑)



第61回長野県縦断駅伝

トーハツ選手の踏ん張りで躍進!

長野市の信濃毎日新聞社前から飯田市合同庁舎間の25区間、全217.5kmで競われる第61回長野県縦断駅伝が、去る11月17日・18日の両日、県下の15チームが参加して行われました。県下を南北に縦断する市郡対抗(15ブロック)の駅伝で各地の選抜選手が競い合う大会です。

今大会伝統ある上伊那チームから選抜出場されたのは、トーハツ陸上部所属の田中秀二選手と池上幸助選手。いずれも県内外の駅伝大会や記録会で実績を持つ、粘り強い走りを身上とするベテランランナーです。最多33回の優勝を誇る上伊那チームは、初日、前半最後の6区を終えても9位という大苦戦。後半7区に入つて、順位を5位に躍進させる原動力となったのが、トーハツの中秀二選手。「順位を気にせず自分の走りしようと思った」と区間2位の力走を見せて流れをつくと、初日アンカーを務めるトーハツ池上選手が同じく区間3位の素晴らしい走りをつなぎ、翌日に期待が膨らみました。2日目、松本城を5位でスタートした上伊那チーム。各区間、力走に次ぐ力走で最後の踏ん張りをみせるも順位を上げるまでには至らず、総合5位でフィニッシュ。次回に期待を繋ぐ結果となりました。今大会上位を逃したとはいえ地元上伊那チームは勿論、トーハツ陸上部・田中秀二選手と池上幸助選手の活躍が光るレースでした。

(トーハツマリン総務課/大坪)



©2012 信濃毎日新聞

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美/青山 滋